

発行日: 2021年1月25日

改訂日: 2024年6月26日

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : KANパテ 強靱ゴムパテNEO 主剤  
会社名 : 関西パテ化工株式会社  
住所 : 〒579-8003 大阪府東大阪市日下町3-7-36  
電話番号 : 072-982-2131  
FAX : 072-982-2135

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性 : 引火性液体 : 区分に該当しない  
健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) : 分類できない  
: 急性毒性(経皮) : 分類できない  
: 急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない  
: 急性毒性(吸入:蒸気) : 区分に該当しない  
: 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない  
: 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 : 分類できない  
: 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 分類できない  
: 呼吸器感作性 : 区分1  
: 皮膚感作性 : 区分1  
: 生殖細胞変異原性 : 分類できない  
: 発がん性 : 分類できない  
: 生殖毒性 : 分類できない  
: 授乳に対する又は授乳を介した影響 : 分類できない  
: 特定標的臓器毒性(単回暴露) : 分類できない  
: 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分2(呼吸器系)  
: 誤えん有害性 : 分類できない  
環境に対する有害性 : 水生環境有害性(急性) : 分類できない  
: 水生環境有害性(慢性) : 分類できない  
: オゾン層への有害性 : 分類できない

## GHSラベル要素

絵表示 : 

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ  
長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ(呼吸器系)

安全対策 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと  
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
[換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名 : イソシアネート

成分名	%(wt)	CAS No.
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート	4	101-68-8

※上記で記載がない成分は通知対象物質ではありません。

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。  
・嘔吐物は飲み込ませないようにし直ちに医師の診断を受けること。  
・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : ・付着物を布にて素早く拭き取ること。  
・大量の水及び石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。  
・外観に変化や痛みがある場合には医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合 : ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。  
できるだけ早く医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : ・誤って飲み込んだ場合には、できるだけ吐き出させて、安静にして直ちに医師の診断を受けること。  
嘔吐物は飲み込ませないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の  
最も重要な徴候症状 : ・特に報告されていない。  
応急処置をする者の保護 : ・救助者は手袋、保護マスク、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。  
医師に対する特別な注意事項 : ・特になし。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂  
使ってはならない消火剤 : 棒状の水  
火災時の措置に関する  
特有の危険有害性 : ・燃焼ガスには一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸引を避ける。
- 特有の消火方法 : ・初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。  
・大規模火災には、泡消化剤を用いて空気を遮断する。  
・可燃性の物を周囲から、素早く取り除くこと。  
・消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。  
・鎮火後は濡れたイソシアネートの中和作業を行う。
- 消火を行う者の保護 : ・消火作業では、手袋、保護マスク、ゴーグル、適切な空気呼吸器等の適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : ・作業の際は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- 環境に対する注意事項 : ・河川等へ排出され、環境への影響を起こさないよう注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : ・中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させ、除去した後濡れた場所を十分に水洗いする。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。  
・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をする。  
・回収した液の入った容器は、密閉せずに処理する。
- 二次災害の防止策 : ・付近の着火源、高温体及び可燃物を素早く取り除くこと。  
・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。  
・衝撃、静電気で火花が発生しないような材質の用具を用いて回収すること。  
・中和剤の例: 水/炭酸ナトリウム/液体洗剤(重量比) = 90~95/5~10/0.2~0.5

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱上の注意

## 技術的対策

- ： ・皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう適切な保護具を着用する。
- ・静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
- ・工具は火花防止型のものを使用する。

## 安全取扱注意事項

- ： ・密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置をつけ、適切な保護具をつけて作業する。
- ・周辺でスパーク、高温物の使用を禁止する。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・取扱後は、手、顔等をよく洗い休憩所等に手袋などの汚染保護具を持ち込まない。
- ・イソシアネートと反応する水、アミン化合物及びポリオール等の物質との接触には十分注意する。

## 保管

## 技術的対策

- ： ・保管場所には危険物を貯蔵し、又は取扱うために必要な採光、照明及び換気設備を設ける。

## 混触危険物質

- ： ・10.安定性及び反応性を参照。

## 安全な保管条件

- ： ・直射日光を避け、冷暗所に保管する。
- ・通風のよいところに保管する。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・容器を開放した後は、乾燥窒素又は乾燥空気です置換し密閉保管する。

## 安全な容器包装材料

- ： ・包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

## 8. 暴露防止及び、保護措置

成分名	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート	0.05mg/m <sup>3</sup>	TWA 0.005ppm, STEL-

## 設備対策

- ： ・取扱設備は防爆型を使用することが望ましい。
- ・排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにすること。
- ・液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを取るよう設備すること。
- ・取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備にすること。
- ・タンク内部の密閉場所で作業する場合には、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。取扱場所は給排気が十分取れる設備とすること。

## 保護具

## 呼吸器の保護具

- ： ・必要に応じ、有機ガス用防毒マスクを着用すること。
- ・密閉された場所では送気マスクを着用すること。

## 眼の保護具

- ： 保護メガネを着用すること

## 皮膚及び身体の保護具

- ： ・静電気防止作業服、安全靴を着用すること。

## 特別な注意事項

- ： ・本製品を使用する際は、飲食あるいは喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理状態

： 液体

## 外観(物理的状態、形状、色など)

： 液体

## 色

： 僅黄色透明

## 臭い

： 僅かな臭気

## 融点・凝固点

： データなし

## 沸点、初留点及び沸点範囲

： データなし

## 燃焼性(固体、気体)

： データなし

## 引火点

： 159℃

## 自然発火温度

： データなし

## 分解温度

： データなし

pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度	: 1g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 冷暗所であれば比較的安定。
危険有害性反応可能性	: 非常に活性が強く、水、アルコール、アミン等の活性水素化合物と反応し発熱する。 ・特に、水が混入すると炭酸ガスを発生し、容器の破裂を引き起こす危険がある。 ・塩基性物質や有機金属化合物の存在によって重合発熱する。
避けるべき条件	: 火気、高温
混触危険物質	: ・水、アルコール、アミン、塩基性物質や有機金属化合物 との接触は避ける。
その他	: 特になし

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 分類できない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入:気体)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 区分1 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
皮膚感作性	: 区分1 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性(変異原性)	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分2 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
誤えん有害性	: 分類できない

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	: 分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	: 分類できない
生態毒性	: 分類できない
残留性・分解性	: ・データなし
生体蓄積性	: ・データなし
生態系 - 土壌	: ・データなし
オゾン層への有害性	: 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: ・廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。 ・大量の硬化や不適切な硬化条件では発火する恐れがあるため、硬化物にせず、かつ単体として他の物質と混ぜないで破棄すること。 ・容器、機械装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
-------	---

- 汚染容器及び包装廃棄
- ・廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、委託すること。
  - ： 空の汚染容器、包装材料を処分するときは、内容物を中和剤等で無害化処理した後、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。

## 14. 輸送上の注意

- 注意事項
- ： 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- 陸上輸送
- ： 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。
- 海上輸送
- ： 船舶安全法の定めるところに従うこと。
- 航空輸送
- ： 航空法の定めるところに従うこと。
- 国連分類
- ： 非該当
- 国連番号
- ： 非該当
- 容器等級
- ： 非該当

## 15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

優先評価化学物質(法第2条第5項)

： メチレンビス(4, 1-フェニレン) = ジイソシアネート

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(ラベル表示・SDS交付義務対象物質)

表示対象物質

： メチレンビス(4, 1-フェニレン) = ジイソシアネート

通知対象物質

： メチレンビス(4, 1-フェニレン) = ジイソシアネート

がん原性物質(作業記録等の30年保存対象物質)

： 非該当

化学物質による健康障害防止のための濃度の基準(濃度基準値設定物質)

： 非該当

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質

皮膚刺激性有害物質

： メチレンビス(4, 1-フェニレン) = ジイソシアネート(別名4'4'-MDI)

皮膚吸収性有害物質

： メチレンビス(4, 1-フェニレン) = ジイソシアネート(別名4'4'-MDI)

特定化学物質等(特化則)

： 非該当

有機溶剤等(有機則)

： 非該当

変異原性が認められた化学物質

： 非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)

第1種指定化学物質

： メチレンビス(4, 1-フェニレン) = ジイソシアネート

毒物及び劇物取締法

： 非該当

消防法

： 第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体

外国為替及び 外国貿易法

： 輸出貿易管理令別表第1の16の項

大気汚染防止法

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質

： メチレンビス(4, 1-フェニレン) = ジイソシアネート

## 16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。

本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱って下さい。

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。

また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

発行日: 2021年1月25日

改訂日: 2024年6月26日

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : KANパテ 強靱ゴムパテNEO 硬化剤  
会社名 : 関西パテ化工株式会社  
住所 : 〒579-8003 大阪府東大阪市日下町3-7-36  
電話番号 : 072-982-2131  
FAX : 072-982-2135

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性 : 引火性液体 : 区分に該当しない  
健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) : 分類できない  
: 急性毒性(経皮) : 分類できない  
: 急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外  
: 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
: 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない  
: 皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない  
: 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2  
: 呼吸器感受性 : 分類できない  
: 皮膚感受性 : 分類できない  
: 生殖細胞変異原性 : 分類できない  
: 発がん性 : 分類できない  
: 生殖毒性 : 分類できない  
: 授乳に対する又は授乳を介した影響 : 分類できない  
: 特定標的臓器毒性(単回暴露) : 分類できない  
: 特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分2(脾臓、肺)  
: 誤えん有害性 : 分類できない  
環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 区分1  
: 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分1  
: オゾン層への有害性 : 分類できない

## GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: 強い眼刺激

長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ(脾臓、肺)  
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

安全対策

: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと  
環境への放出を避けること。  
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名 : 芳香族ポリアミン

成分名	%(wt)	化審法	CAS No.
カーボンブラック	1.5	(5)-3328、(5)-5222	1333-86-4

※上記で記載がない成分は通知対象物質ではありません。

危険有害性成分 : カーボンブラック

※但し、本製品はペースト状でカーボンブラックが単体で飛散する可能性はありません。  
またカーボンブラック協会では固体又はペースト状の含有製品では除外とされています。

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。  
・嘔吐物は飲み込ませないようにし直ちに医師の診断を受けること。  
・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : ・付着物を布にて素早く拭き取ること。  
・大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。  
・外観に変化や痛みがある場合には医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合 : ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。  
できるだけ早く医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : ・誤って飲み込んだ場合には、できるだけ吐き出させて、安静にして直ちに医師の診断を受けること。  
嘔吐物は飲み込ませないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : ・特に報告されていない。
- 応急処置をする者の保護 : ・救助者は手袋、保護マスク、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項 : ・特になし。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の措置に関する特有の危険有害性 : ・空気の供給不足の条件で燃えた場合には、有毒なレベルのアンモニア、窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素、刺激性のあるアルデヒドやケトンが発生する可能性がある。
- 特有の消火方法 : ・初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。  
・大規模火災には、泡消化剤を用いて空気を遮断する。  
・可燃性の物を周囲から、素早く取り除くこと。  
・消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護 : ・消火作業では、手袋、保護マスク、ゴーグル、適切な空気呼吸器等の適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : ・作業の際は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- 環境に対する注意事項 : ・河川等へ排出され、環境への影響を起こさないよう注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : ・流出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。  
・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。  
・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をする。
- 二次災害の防止策 : ・付近の着火源、高温体及び可燃物を素早く取り除くこと。  
・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。  
・衝撃、静電気火花が発生しないような材質の用具を用いて回収すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 技術的対策(局所排気、全体排気) : ・皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう適切な保護具を着用する。  
 ・静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。  
 ・工具は火花防止型のもを使用する。

- 安全取扱注意事項 : ・周辺でスパーク、高温物の使用を禁止する。  
 ・強酸、強酸化剤との接触をさける。  
 ・密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置をつけ、適切な保護具をつけて作業する。  
 ・容器はその都度密栓する。  
 ・取扱後は、手、顔等をよく洗い休憩所等に手袋などの汚染保護具を持ち込まない。

## 保管

- 技術的対策 : ・保管場所には危険物を貯蔵し、又は取扱うために必要な採光、照明及び換気設備を設ける。

- 混触禁止物質 : ・10.安定性及び反応性を参照。  
 安全な保管条件 : ・直射日光を避け、冷暗所に保管する。  
 ・通風のよいところに保管する。  
 ・火気、熱源から遠ざけて保管する。  
 ・強酸化剤、強酸、強アルカリ、有機過酸化物等との接触を避ける。  
 ・過剰の酸、エポキシ樹脂との接触を避ける。

- 安全な容器包装材料 : ・包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

## 8. 暴露防止及び、保護措置

成分名	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
カーボンブラック	【粉塵許容濃度】(第2種粉塵)吸入性粉塵1mg/m <sup>3</sup> 層粉塵4mg/m <sup>3</sup>	TWA 3mg/m <sup>3</sup> ,STEL-

安衛法:化学物質による健康障害防止のための濃度の基準(濃度基準値設定物質)

- 物質名 : カーボンブラック※2025/10/01より適用  
 : 8時間濃度基準値 : レスピラブル粒子として0.3mg/m<sup>2</sup>  
 : 短時間濃度値 : -  
 : 試料採取方法 : 作業環境測定基準(昭和51年労働省告示第46号)第2条第2項で定める分粒装置を用いるろ過捕集方法  
 : 分析方法分析方法 : 重量分析方法

## 設備対策

- : ・取扱設備は防爆型を使用することが望ましい。  
 ・排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにすること。  
 ・液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを取るよう設備すること。  
 ・取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれなような設備にすること。  
 ・タンク内部の密閉場所で作業する場合には、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。取扱場所は給排気が十分取れる設備とすること。

## 保護具

- 呼吸器の保護具 : ・有機ガス用防毒マスクを着用すること。  
 ・密閉された場所では送気マスクを着用すること。  
 手の保護具 : 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。  
 眼の保護具 : 保護メガネを着用すること  
 皮膚及び身体の保護具 : ・静電気防止作業服、安全靴を着用すること。  
 特別な注意事項 : ・本製品を使用する際は、飲食あるいは喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体  
 外観(物理的状態、形状、色など) : 液体  
 色 : 黒色

臭い	: アミン臭
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留天ん及び沸点範囲	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: データなし
引火点	: 169°C
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度	: 1g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: ・通常の取り扱い条件においては安定。
危険有害性反応可能性	: ・酸と急激に反応する。 ・エポキシ樹脂と反応する。 ・大量に硬化させると発火する危険性有り。
避けるべき条件	: ・高温多湿
混触危険物質	: ・酸化還元物質であり、酸化剤、強酸との接触混合は避ける。
その他危険有害性情報	: ・特になし

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 分類できない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入:気体)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分2 強い眼刺激
呼吸器感受性	: 分類できない
皮膚感受性	: 分類できない
生殖細胞変異原性(変異原性)	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分2 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ(膀胱、肺)
誤えん有害性	: 分類できない

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	: 区分1 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ(膀胱、肺)
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分1 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
生殖毒性	: 分類できない
残留性・分解性	: ・データなし
生体蓄積性	: ・データなし
生態系 - 土壌	: ・データなし
オゾン層への有害性	: 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

- : 廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。
- ・大量の硬化や不適切な硬化条件では発火する恐れがあるため、硬化物にせず、かつ単体として他の物質と混ぜないで破棄すること。
- ・容器、機械装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、委託すること。
- ・廃樹脂等を焼却処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却すること。
- ・他の物質と混ぜて廃棄しないこと。

## 汚染容器及び包装廃棄

- : 空の汚染容器、包装材料を処分するときは、内容物を中和剤等で無害化処理した後、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。

## 14. 輸送上の注意

## 注意事項

- : 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

## 陸上輸送

- : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。

## 海上輸送

- : 船舶安全法の定めるところに従うこと。

## 航空輸送

- : 航空法の定めるところに従うこと。

## 国連分類

- : 9 - 環境有害物質を含むその他の有害物質及び物品

## 国連番号

- : 3082 環境有害物質(液体)(芳香族ポリアミン混合物)

## 容器等級

- : III

## 15. 適用法令

## 労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(ラベル表示・SDS交付義務対象物質)

表示対象物質 : ・カーボンブラック

通知対象物質 : ・カーボンブラック

がん原性物質(作業記録等の30年保存対象物質)

- : 非該当

化学物質による健康障害防止のための濃度の基準(濃度基準値設定物質)

- : ・カーボンブラック※2025/10/01より適用

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質

- : 非該当

特定化学物質等(特化則) : 非該当

有機溶剤等(有機則) : 非該当

変異原性が認められた化学物質 : 非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)

- : 非該当

毒物及び劇物取締法

- : 非該当

消防法

- : 第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体

船舶安全法

- : 有害性物質(危規則第2.3条危険物告示別表第1)

航空法

- : その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

外国為替及び 外国貿易法

- : 輸出貿易管理令別表第1の16の項

## 16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。

本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱って下さい。

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。

また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。